

すぐに! 親身に! 誠実に!

芦屋市議会議員

たはら としひこ
田原 俊彦

1983年3月 創価大学法学部卒業
 2002年12月 三井住友銀行退職(約20年在職)
 2003年4月 芦屋市会選挙で初当選、現在5期目
 防災士 ひょうご防災リーダー 全国手話検定5級 お客様対応専門員(CAP)
 ユニバーサルマナー検定3級 メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅲ種



第61号 2021/5月発行

令和3年 第1回(3月)定例会のご報告

JR 芦屋駅南地区 再開発事業

修正案が賛成多数で可決に

市は、JR 芦屋駅南地区の再開発事業予算案を、昨年までとほぼ同じ事業内容で3月議会に提出しました。しかし議会は、私も含め減額する修正案を賛成多数で可決。つまり昨年3月以降、市が示している再開発事業については、事実上4度目の予算否決となりました。

市が計画している再開発事業についての課題としては、事業費に上限がなく膨張しており財政負担が大きいこと、厳しい財政状況のためこの事業を進めることにより、市民サービスの低下が懸念されること、人口減少やコロナ禍による社会の変化がすでに起こっていること、地権者の合意形成が十分でないことなどがあげられます。

今回の修正議決を受け、市の今後の対応に注目していきたいと思います。

春日集会所 存続の請願が採択に

春日町自治会のみなさまが、昨年市が急きょ示した春日集会所と打出教育文化センターの統廃合計画について、春日集会所の存続を求める請願書を議会に提出されました。

市の計画によると、春日集会所は老朽化しているため廃止し、その機能を、打出教育文化センターの改装に合わせて統合するものです。

集会所は、地域コミュニティの核です。また万一の避難所にもなります。市の計画は、到底認めることができず、自治会からの存続を求める請願に全会一致で賛成し、採択されました。

議会で防災訓練を実施

防災訓練といえば災害を想定しますが、今回行った訓練は、感染症を想定した訓練です。

議会事務局職員が感染し、職員全員が職務にあたれないことを前提としています。つまり議員だけで会議の準備、開催を行いました。

ふだんは、会議の事前準備、当日の記録、録音、傍聴受付などを職員の方にお世話になっています。当日は、議員が手分けして機器の操作などを担当しました。いざという時のために、繰り返し行うことで身につくと思います。訓練の重要性を改めて感じました。



芦屋市新型コロナワクチンコールセンター が開設されました

電話： 0797-31-0655
 平日： 9:00～17:30
 土日祝： 10:00～16:00 (第3日曜除く)

ワクチン接種の予約等についてのご相談は、上記のコールセンターをご利用ください。ワクチン接種については、費用負担はありません。詐欺などにご注意ください。

改めて、感染された方々にお見舞い申し上げます。また現場の最前線でご尽力いただいているみなさまに、感謝申し上げます。

🔊 Topics トピックス

社会的孤立について 意見交換を実施

芦屋市議会公明党は、福祉センターで「社会的孤立」をテーマに、市内で相談業務に関わっておられる方々（芦屋市社会福祉協議会、三田谷治療教育院、芦屋メンタルサポートセンターなど）と意見交換を行いました。

総合相談窓口での相談や問い合わせは、コロナ前の年に比べて、相談が約8倍に急増しています。ひきこもりや住宅困窮に関する相談が多いなどさまざまなご意見やご要望をいただきました。

体制や制度を含めて、関係者と協議し、より良い方向になるように、今後取り組んでまいります。お時間をいただきました関係者のみなさまに感謝申し上げます。



コロナ禍での女性の貧困対策

コロナ禍の影響もあり、若者や女性の中には、生活困窮による悩みが増えています。

任意団体である「#みんなの生理」が行った調査によると、5人に1人の若者が金銭的な理由で「生理用品を買うのに苦労した」「他の物で代用している」といった現状が明らかになりました。ネグレクト（養育放棄）により親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるという状況もわかりました。

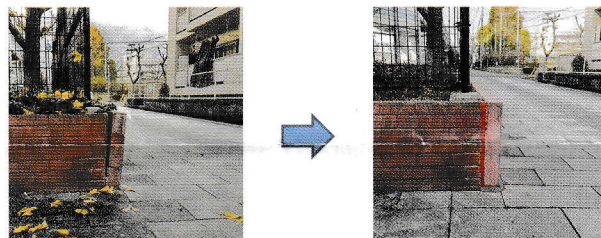
芦屋市議会公明党は、3月19日、芦屋市長に、「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」を提出。要望では、市の防災用備蓄品の中にある消費期限が近い生理用品を必要な方へ届けるように求めています。これからも小さな声に耳を傾けてまいります。

地域サポート

■花壇のレンガを修復（精道町）

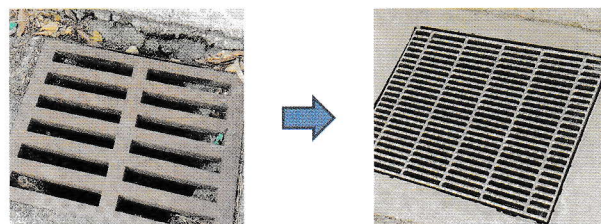
国道43号線沿いの花壇のレンガが崩れる恐れがあると、修復の相談がありました。

2018年の大阪北部地震では、登校途中の小学生が学校のブロック塀の下敷きになって犠牲になりました。この場所も精道小学校の通学路です。市の担当所管と協議し、国道事務所と連携していただき、このたび修復工事が完了。関係者のみなさま、ありがとうございました。



■排水溝のフタを修復（浜芦屋町）

市道にある排水溝のフタの周辺の一部が傷んでおり危険との声を頂きました。この道は、小学校の通学路です。市の道路管理をする担当課に連絡し、このたび取替え工事が終わりました。関係者のみなさま、ありがとうございました。



☆北極星☆ 東日本大震災から10年目の日に、福島県は、新聞紙上に意見広告を出しました。その中のある高校生の言葉が心に残りました。それは「あの日私たちは、波に飲み込まれていく人々の手を掴（つか）み取って救うことができなかった。だから今度は、社会から分断されゆく人々の手を握り締めて、離さないで、みんながもっと自分を、他人を愛せる世界を願っています。そして私自身が、そうでありたい」。分断、差別、格差のない社会を目指していきます。誰ひとり取り残さない社会を創るためにも。